

経営比較分析表（令和3年度決算）

三重県 こころの医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	精神科病院	精神病院	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	3	-	-	臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,784,968	20,768	非該当	非該当	15 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

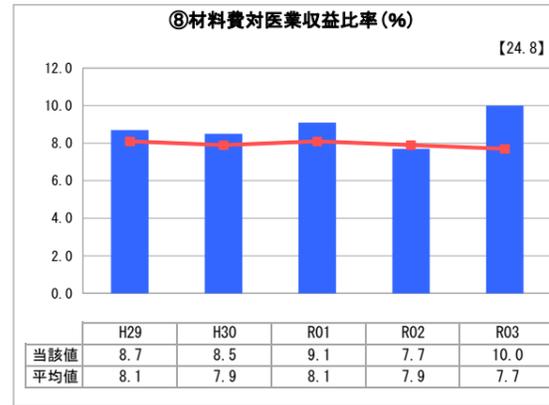
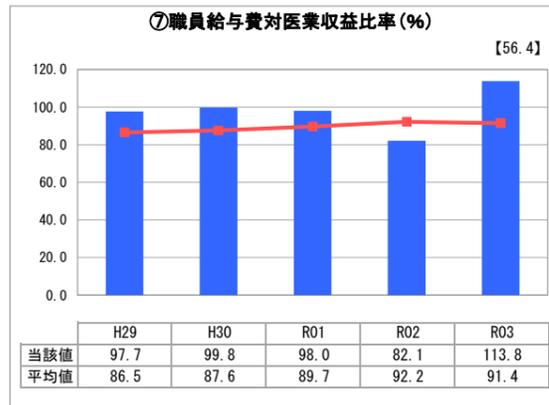
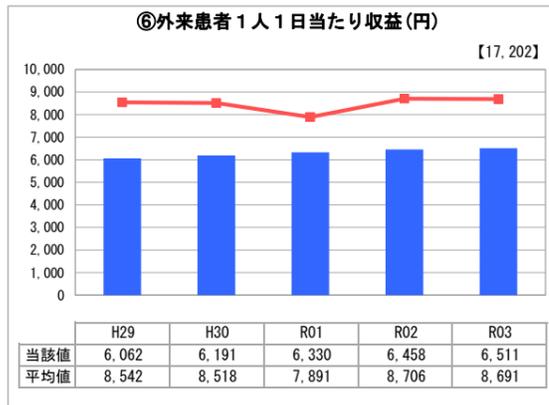
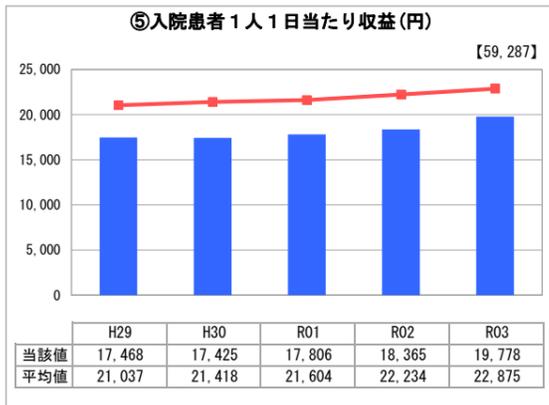
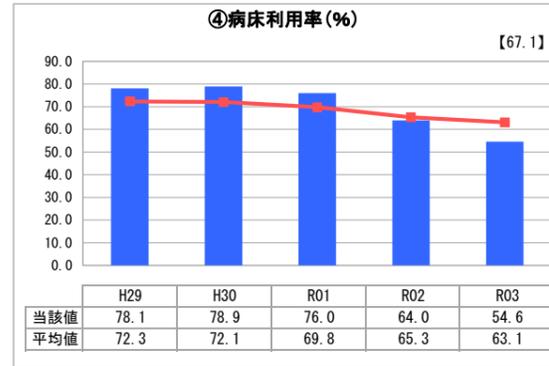
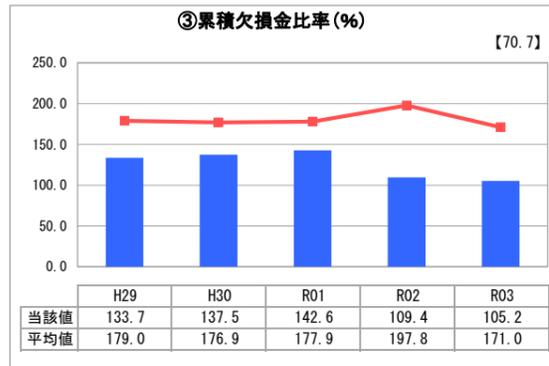
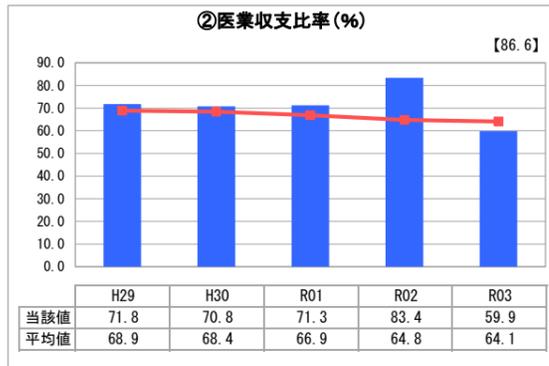
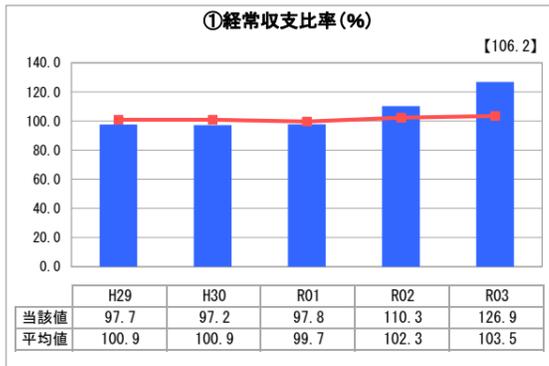
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
-	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
348	-	348
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
-	-	-

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和3年度全国平均

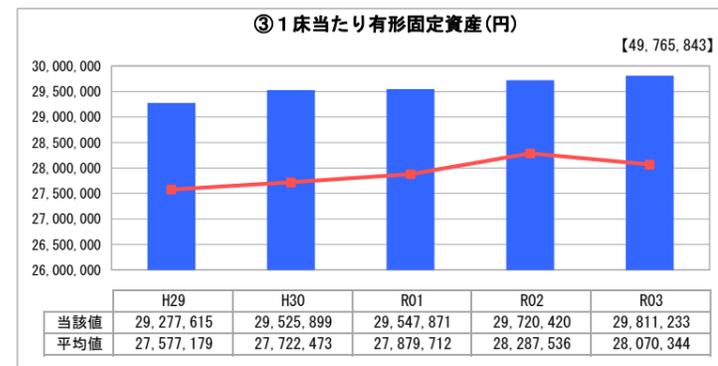
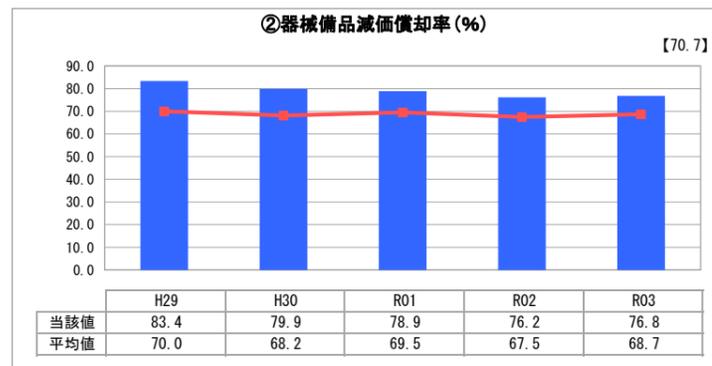
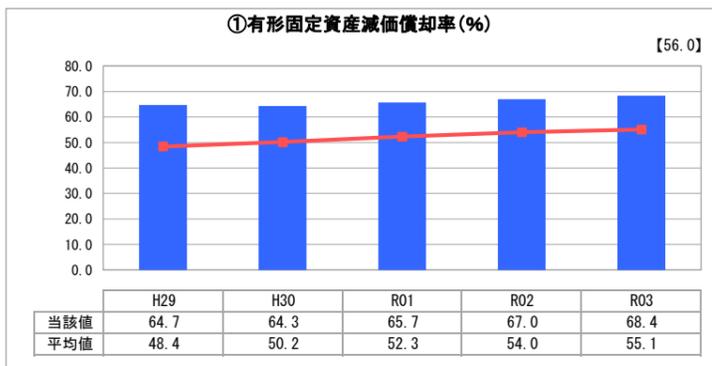
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

・県内の精神科医療における中核病院として、精神科救急・急性期医療等の政策的医療や認知症治療、アルコール・ギャンブル依存症治療、精神科早期介入（早期発見・早期支援・早期治療）・早期予防等の専門的医療を提供するとともに、研修医や看護実習生等を積極的に受け入れるなど、県内の精神科医療人材の育成にも貢献している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・新型コロナウイルス感染症に係る交付金等の影響で、経常収支比率は類似病院の平均値を上回っているが、同感染症の先行きが不透明であることから、コロナ収束後を見据え引き続き経営の健全化に努める必要がある。

・病床利用率、入院・外来患者1人1日当たり収益が類似病院平均値を下回っており、病床管理の適正化等により利用率・診療単価の最適化を図る必要がある。

・職員給与費及び材料費対医業収益比率は類似病院を上回っている。給与費、材料費ともに前年度比で減少している一方、それ以上に医業収益が減少したことが比率押し上げの要因となっている。引き続き費用の削減に取り組むとともに、前述のとおり病床利用率・診療単価の最適化を図り医業収益を改善する必要がある。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院の平均値より高く、老朽化が進んでいるため、引き続き計画的な更新を行っていく必要がある。

・1床当たり有形固定資産は類似病院の平均値に近い数値であるが、引き続き計画的に投資を行い、過大な投資とならないよう留意していく必要がある。

全体総括

・更なる経営の健全化に努め、「入院医療中心から地域生活中心」という精神科医療の方向性をふまえ、県内の精神科医療における中核病院としての役割を担いながら、適切な入院診療機能の確保とともに、外来患者に対する地域生活支援の一層の充実など、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努めていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和3年度決算）

三重県 一志病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	-	ド訓	救へ
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,784,968	6,295	第1種該当	-	10:1

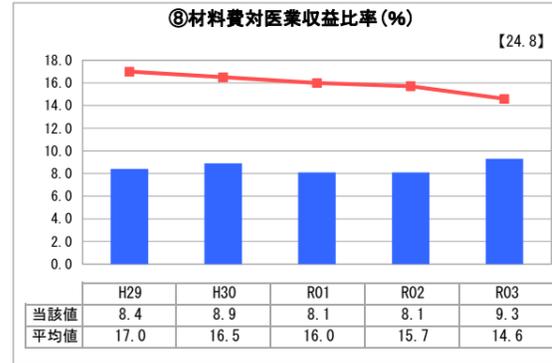
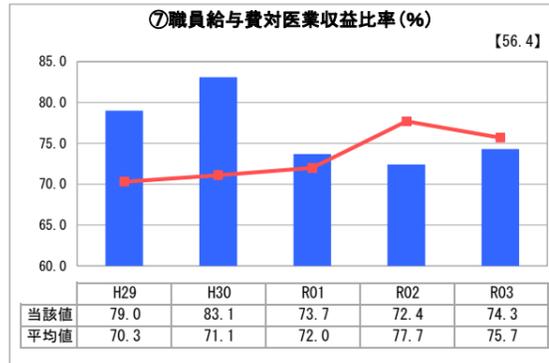
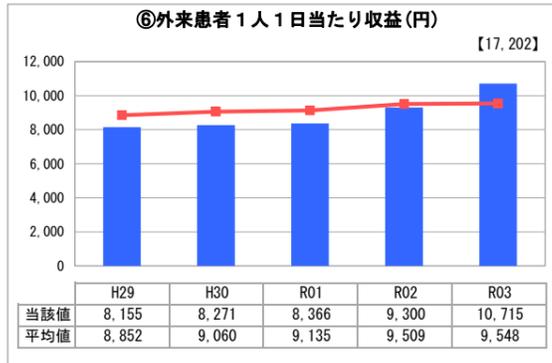
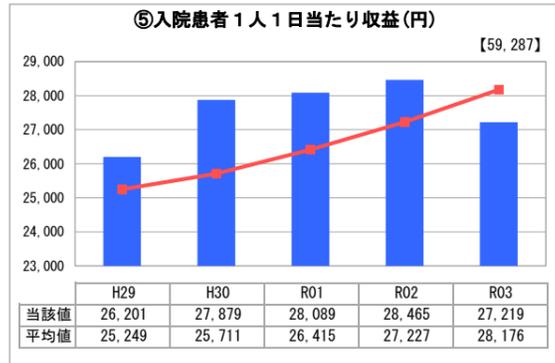
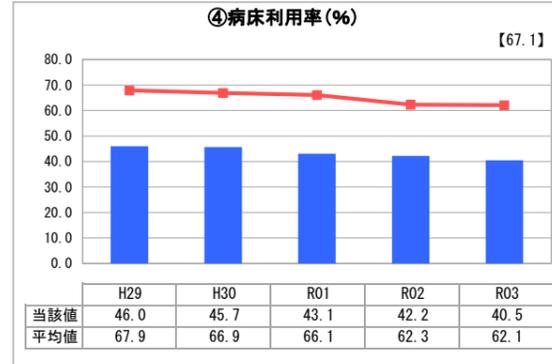
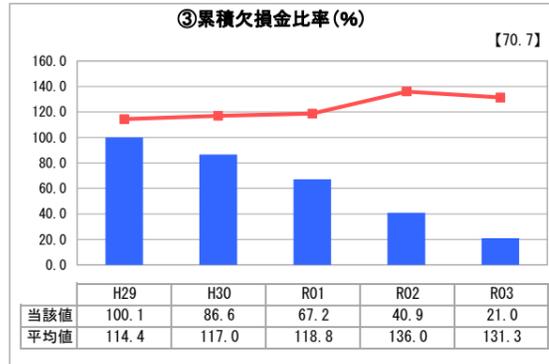
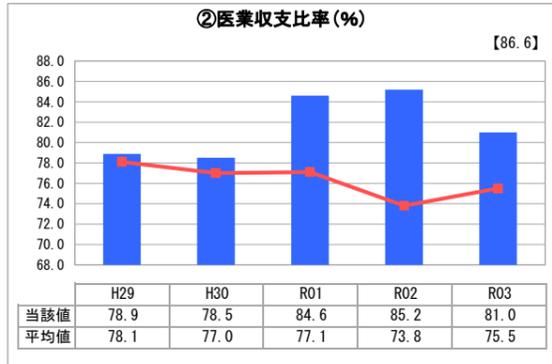
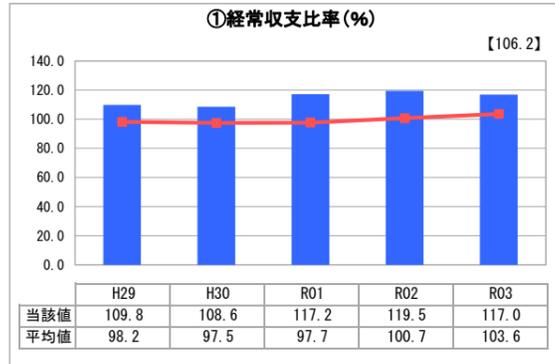
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
46	36	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	82
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
46	-	46

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

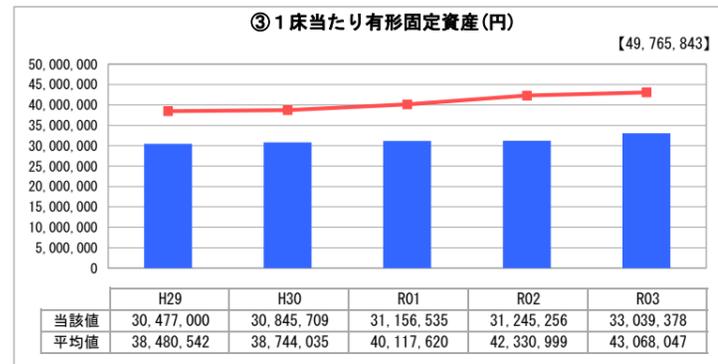
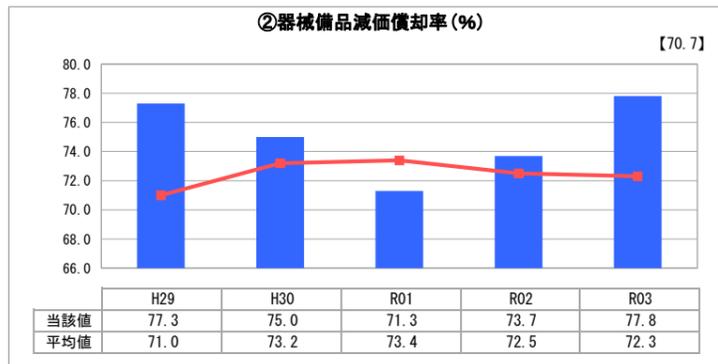
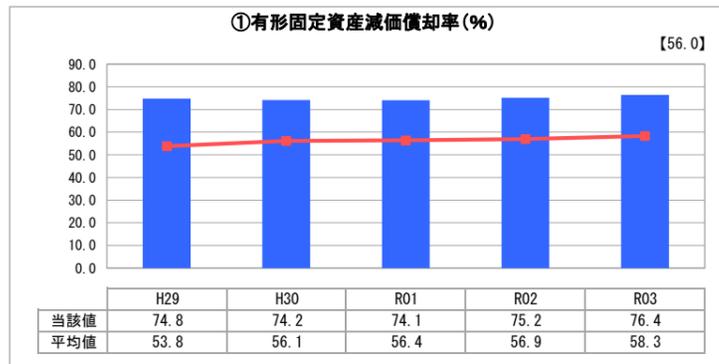
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- 総合診療医を中心としたプライマリ・ケアを実践するとともに、総合診療医の育成拠点として、研修医や医学生を受け入れ、県内の医師の人材育成にも貢献している。
- 過疎・高齢化が進む中、訪問診療・訪問看護等の在宅療養支援の充実に取り組んでいる。
- 市による地域包括ケアシステムの構築を支援するため、医療・介護・予防等の多職種連携に取り組んでいる。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率は100%を超えており、また、医業収支比率も類似病院の平均を上回っており、健全性は確保されている。
- 病床利用率は療養病床が休床しているため、類似病院の平均を下回っている。
- 入院患者1人1日当たりの収益が類似病院の平均を下回っており、病床管理の適正化等により診療単価の最適化を図る必要がある。
- 職員給与費及び材料費対医業収益比率は類似病院の平均を下回ったが、前年度比増となっている。医業収益の減少による影響が大きいため、収益改善に加え、引き続き時間外勤務の適正管理等労働生産性の向上や診療材料等の適正な在庫管理を徹底し、費用の低減に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院の平均値より高く、老朽化が進んでいるため、引き続き、計画的な更新を行っていく必要がある。
- 1床当たり有形固定資産は類似病院の平均を下回っている。引き続き、過大な投資とならないよう留意していく。

全体総括

- 引き続き、経営の健全化に努め、総合診療医やプライマリ・ケアを担う人材の育成に積極的に取り組むとともに、訪問診療・訪問看護等の実施や医療・介護・予防等の多職種による連携会議等の開催など、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努めていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和3年度決算）

三重県 志摩病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
指定管理者(利用料金制)	14	対象	ド透I訓	救臨へ災地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
1,784,968	26,325	-	第1種該当	10:1

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
236	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
100	-	336
最大使用病床(一般)	最大使用病床(療養)	最大使用病床(一般+療養)
207	-	207

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均	

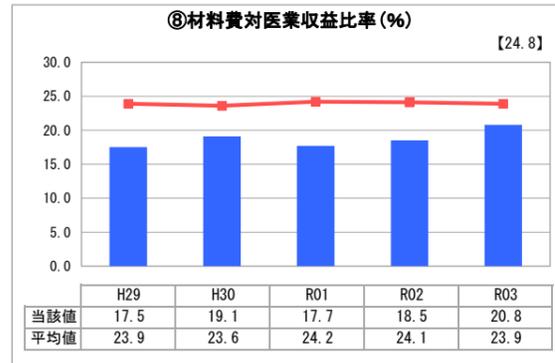
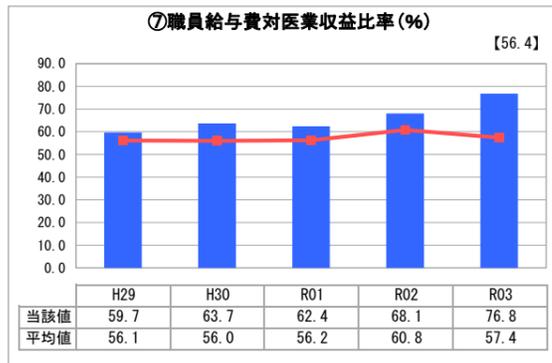
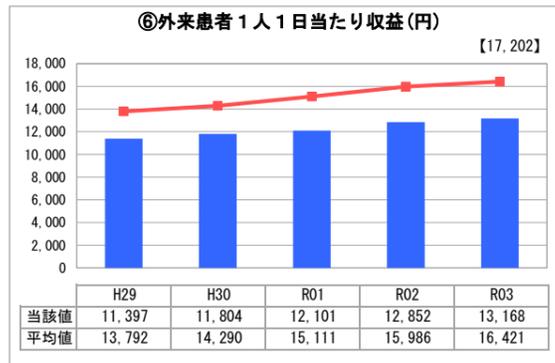
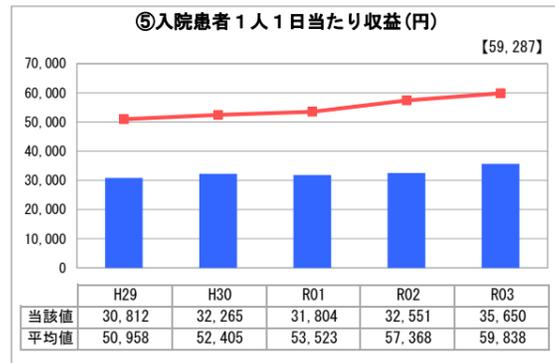
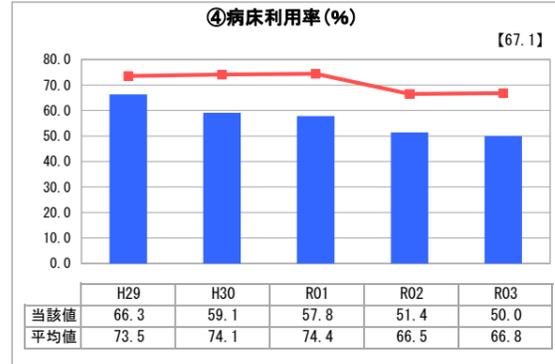
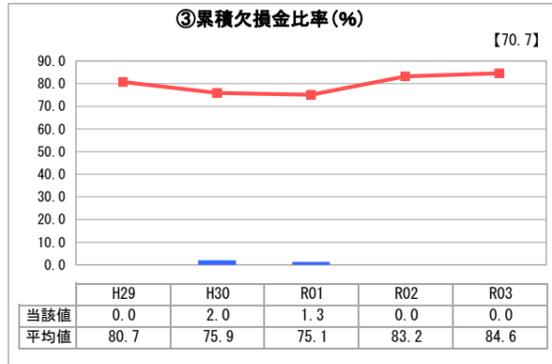
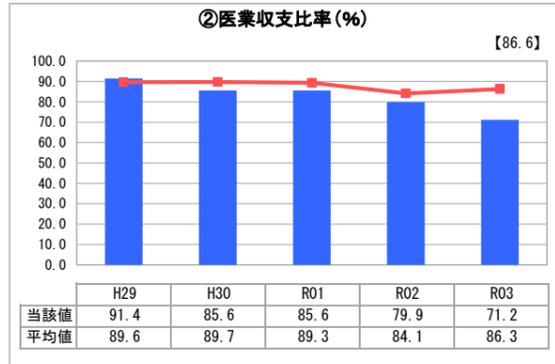
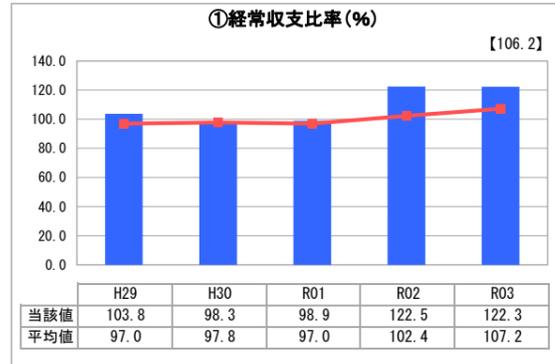
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

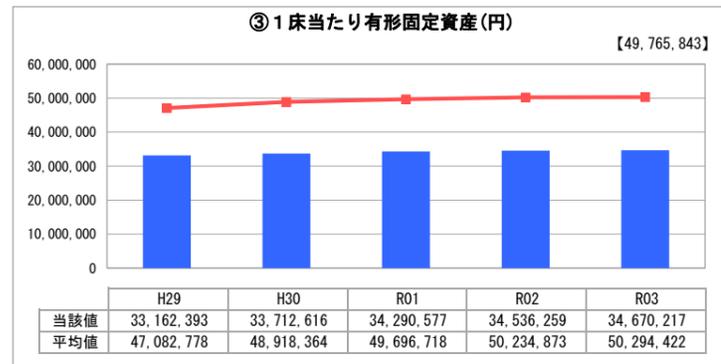
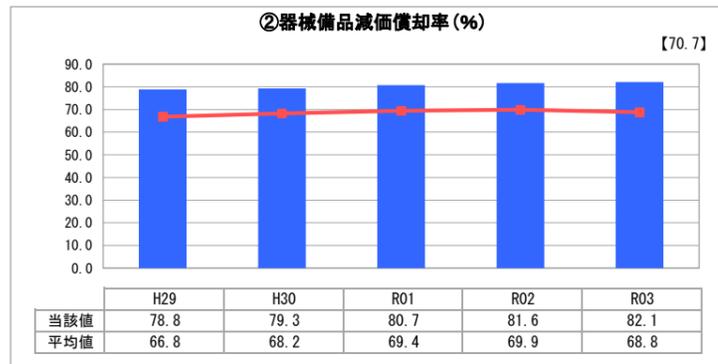
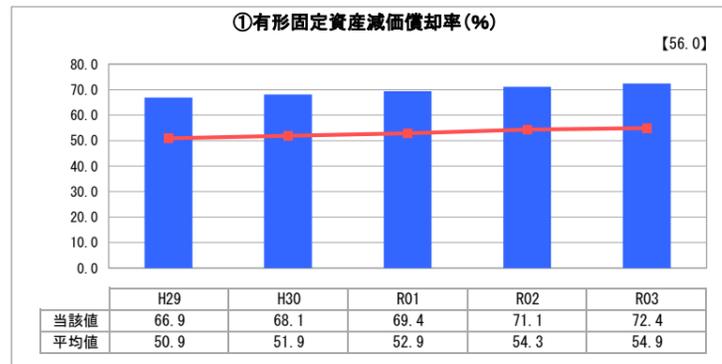
公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

- 志摩地域の中核病院として、三次救急医療機関等との連携のもと、二次救急医療や災害医療等を担う急性期病院としての役割を担うとともに、回復期機能も併せ持つ病院としての役割も果たしている。
- さらに、志摩地域の地域包括ケアシステムの構築に向けてネットワークづくりを推進している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 経常収支比率は類似病院平均を上回っており、100%を超えているが、補助金等の影響によるものが大きい。一方、医業収支比率は類似病院平均及び前年実績を下回っているため、コロナ収束後を見据え引き続き改善努力が必要である。
- 病床利用率は、患者の高齢化(車イス利用者の増等)により1室あたりの病床数を削減した運用となっていることも影響し、類似病院平均を下回っている。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、病床管理が困難な状況が続いている。
- 1人1日当たりの収益は、入院・外来とも類似病院平均を下回っている。入院については当該病院の特色として精神科が含まれていることから、類似病院と比較して低くなることが想定される。

2. 老朽化の状況について

- 有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は類似病院平均を上回っており、老朽化が進んでいるため、引き続き、計画的な更新を行っていく必要がある。
- 1床当たり有形固定資産は類似病院平均を下回っており、引き続き、過大な投資とならないよう留意していく。

全体総括

- 新型コロナウイルス感染症による事業への影響を注視しつつ、志摩地域の中核病院としての役割を担っているよう、常勤医師や看護師等の充実、総合診療医と他の専門医の連携による幅広い疾患への対応、救急医療体制のさらなる拡充、他の急性期病院等との連携強化など、診療機能の回復・充実を図る。
- 建物(附属設備を含む)、器械備品の老朽化対策については、過大な投資とならないよう留意しつつ、必要な改修・更新を計画的に実施していく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。